

第 52 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	岡田ゼミ	チーム名	チームデポルテ！
タイトル	スポーツで世界と繋がるアシックス		
テーマ群	(d) 国際経済 (e) 産業・企業		
メンバー	小川真央奈、平山沙愛、林佑香梨、渡辺信吾、中川佑哉、嶋岡大貴、三宅敦也、高見和希、井場拓人		
研究計画内容	<p>【研究背景・研究目的】</p> <p>日本国内におけるスポーツビジネスの市場規模は、2012 年で 5.5 兆円、2015 年にはスポーツ庁が設立され、2025 年には市場を 15 兆円まで拡張しようという目標が掲げられている。しかし、海外の企業に比べて国内の企業は市場規模が小さいと考える。実際、2022 年 5 月期決算における世界全体のスポーツメーカー売り上げランキングでは、上位 7 社が海外の有名企業である。そこで私たちは、国内スポーツメーカーの現状を把握し、その改善を考える上で、私たちに関わりの深い神戸に本社があるアシックスに着目し、研究を行った。</p> <p>【研究内容】</p> <p>まず初めにアシックス社の歴史、現在のビジネス展開、スポーツやファッションなどのカテゴリー別の売り上げなどを紹介していく。次に、アシックスは海外売り上げが全売り上げの約 70%を占めており、日本のスポーツ企業の中でも海外展開が進んでいることや、国際 NPO とパートナーシップを締結しているなどといった、同社の強みについて述べる。一方でアンケートを行った結果、アシックスの製品は概ねスポーツをしている人向けに限られ、かつファッション性に欠ける企業イメージがあるという弱みがあることがわかった。アシックスは高い海外売り上げ比率にもかかわらず、世界のスポーツメーカー売り上げランキングでは 8 位にとどまっている。上記の弱みをはじめとするその背景を探り、改善策を提起しながら、アシックスが今後海外売り上げをさらに伸ばすことを終着点として研究を進めていく。</p> <p>【期待される効果】</p> <p>アシックスは 2022 年度 5 月期決算における世界全体のスポーツメーカーの売り上げランキングで 8 位である。</p> <p>アンケート等からうかがえた課題の改善策を実行することによって、アシックスの海外売り上げのさらなる向上が期待される。また、海外での売り上げの増加により日本国内での売り上げの増加がうながされることも予想される。さらにはアシックスのブランド価値も上がり、同社の総体的発展を導くという効果が期待される。</p>		